

国際協働研究セミナー Seminar on Materials Science and Joining Technology

接合科学研究所複合化機構学分野 教授
近藤 勝義

2022年1月13日(木)に国際協働研究セミナー「Seminar on Materials Science and Joining Technology」をオンラインにて開催しました。当研究所では多くの海外大学、研究機関との国際協働研究を実施していますが、今回のセミナーはその中でも主に広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業の活動により構築された連携ネットワークに基づき実施された国際協働研究についてその成果の報告を行う目的で開催しました。今回は海外8機関、8名の研究者より、成果を発表頂きました。セミナーは田中 学所長の開会の挨拶により開始されました。各発表の最初に当研究所の連携研究室が5分程度の研究紹介を行い、続いて海外研究者からの研究発表が実施されました。

今回研究発表を行った8名はそれぞれ、ベトナム科学技術アカデミー(ベトナム) Dr.Chuc、国立成功大学(台湾) Prof.Lin、上海交通大学(中国) Prof. Lu、ハノイ工科大学(ベトナム) Dr. Le、マラヤ大学(マレーシア) Dr. Ridha、モンクット王トンプリ工科大学(タイ) Assoc.Prof. Anak、タイ国立金属材料技術研究センター(タイ) Dr. Sasitorn、KUルーベン(ベルギー) Prof. Sharma でした。

各国際協働研究の開始時期は様々ですが、中には10年を越え連携しているパートナーもあり、これまでの有意義な連携成果が本日のセミ

ナーにて共有されたと言えます。また、今回発表された成果は、既に論文として公表済の内容であり、各連携により多数の論文が発表されていることが分かりました。

研究発表後には、それぞれテーマ毎に当研究所教員や研究者、そして海外連携機関からの研究者混合による3つのチームに分かれ、今後の複数連携(Multilateral collaboration)による国際協働研究の可能性について協議を行いました。それぞれ研究の取り組みは異なりますが、各成果を活用した次段階の研究への発展可能性を模索しました。協議終了後には各グループから協議結果や連携可能性について共有が行われ、閉会となりました。

こうした連携は研究としての成果は勿論、学生交流の機会としても有機的な機会となっています。連携からの確実な成果を得るためには、長期的な取り組みと信頼関係の構築が不可欠であり、本日のようなセミナーを通じて定期的に連携パートナー同士が横断的に顔を合わせて情報を交換することが重要だと考えています。

本日のセミナーには、JSTの支援によるさくらサイエンスプログラムへの参加学生10名を含め、計42名の参加がありました。このセミナーを機に新たな複数連携へと発展することが期待されます。(次ページ写真あり)



Group photo with seminar participants